

発生交第 16 号
令和 6 年 1 月 〇〇日

中国運輸局長 殿

氏名又は名称	鳥取市生活交通会議
住 所	鳥取市幸町 7 1
代表者氏名	会長 谷 本 圭 志

令和 5 年度 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価の送付について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成 23 年 4 月 1 日国総計第 5 号、国鉄財第 4 号、国鉄業第 4 号、国自旅第 20 号、国海内第 8 号、国空環第 5 号）に基づき、令和 4 年度地域公共交通確保維持事業の事業評価を実施したので、事業評価票等を送付いたします。

【お問い合わせ先】

〒680-8571 鳥取市幸町 7 1 番地

鳥取市都市整備部 交通政策課 担当：有本（ありもと）

TEL:0857-30-8326(直通) FAX:0857-20-3953

E-mail : kotsuseisaku@city.tottori.lg.jp

地域公共交通確保維持事業・事業評価(生活交通確保維持計画に基づく事業)

令和6年1月12日

協議会名: 鳥取市生活交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日本交通(株)	①米里線(上り) ②米里線(下り)	(R4二次評価結果) ・とりわけ利用者数が大きく減少した系統についてはコロナの影響以外の要因を分析の上、関係者と連携して議論し、住民に利用してもらえ持続可能な公共交通となるように期待する。	A 計画通り事業は適切に実施された。	(目標) 目標102人に対し実績57人であり、目標を下回った。 (効果) B 令和5年4月より地元の診療所及び学校を経由する路線に変更した。地域住民の広域移動を可能とする交通手段となっている。	今後も、地元及び事業者と協議を重ねて利用促進に努める。
日ノ丸ハイヤー(株)	雨滝・上地線	(反映状況) 利用状況を共有し、米里線については令和5年4月～新路線、新ダイヤでの運行を開始した。利用促進に努めるため地域との意見交換会を重ねた。		(目標) 目標6,275人に対し実績は4,006人であり、目標を下回った。 (効果) B 区域運行を行うフィーダー系路線として、幹線交通へのアクセスを重視したダイヤを設定しており、通学を中心とした地域住民の交通手段となっている。	今後も引続きダイヤ改善や路線延長等の要望事項について、地元・事業者等と検討を続ける。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月12日

協議会名:	鳥取市生活交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>鳥取市は平成16年に1市8町村が合併した鳥取県東部の中心都市であり、面積は765.31km²、人口は188,465人(令和2年国勢調査)である。</p> <p>鳥取市における主要な公共交通機関であるバス交通は、日常生活を営む上で必要不可欠な移動手段であり、地域生活を支える根幹的な基盤である。今後、さらに高齢化が進むと予想される中、地域生活の持続的発展のためには健全な地域公共交通の確保が求められる。</p> <p>しかし、人口減少やマイカーの普及に伴うバス利用者の減少や深刻な乗務員不足により、バス路線の廃止・縮小が進行している。米里線については平成21年9月、中河原線については一部区間(雨滝・上地地区)の運行が、平成28年3月をもって廃止されたため、交通手段を確保する必要があった。そこで、地域公共交通確保維持改善事業により乗合タクシーを運行することで、上記地区における住民の生活交通手段を確保していく。</p>

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 鳥取市生活交通会議 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



鳥取市の概要

- ・平成16年11月に1市8町が合併
- ・人口 188,465人(令和2年度国勢調査)
- ・面積 765.31km²

鳥取市生活交通会議の構成員

学識経験者、住民代表、事業者、事業者団体、事業者労働組合、鳥取県、鳥取市、鳥取運輸支局、警察署、道路管理者

概要

鳥取市における主要な公共交通機関であるバス交通は、日常生活を営む上で必要不可欠な移動手段であり、地域生活を支える根幹的な基盤である。今後、さらに高齢化が進むと予想される中、地域生活の持続的発展のためには健全な地域公共交通の確保が求められる。

しかし、人口減少やマイカーの普及に伴うバス利用者の減少や深刻な乗務員不足により、バス路線の廃止・縮小が進行している。米里線については平成21年9月、中河原線については一部区間(雨滝・上地地区)の運行が、平成28年3月をもって廃止されたため、交通手段を確保する必要があった。そこで、地域公共交通確保維持改善事業により乗合タクシーを運行することで、上記地区における住民の生活交通手段を確保している。

会議の主な取り組み

下記の事項について協議。

- ・路線バス等の廃止・縮小に伴う代替手段に関する事
- ・交通空白地域におけるフィーダー交通に関する事
- ・生活交通創生ビジョンに関する事
- ・地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関する事
- ・自家用有償旅客運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事
- ・網計画に位置づけられた事業の実施に関する事
- ・鳥取市生活交通会議の運営に関する事

会議における検討

年6回程度開催(本事業に係るものは下記)

- 令和3年5月28日
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画について(令和4～6年度)
- 令和4年1月7日
 - ・令和3年度事業評価について
- 令和4年6月28日
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画について(令和5～7年度)
- 令和4年12月
 - ・令和4年度事業評価について
- 令和5年2月10日
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画変更について
- 令和5年6月27日
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画について(令和6～8年度)
- 令和6年1月
 - ・令和5年度事業評価について

鳥取市生活交通会議 事業の評価

定量的な目標・効果

路線不定期運行(予約型)2系統、区域運行(予約型)1系統

(目標)

本乗合タクシー導入地域の人口減少率は高く、少子化の影響等によりその状況は加速するものと想定されるため、目標は、乗合タクシーの前年度利用者数を参考に現状維持とした。

・年間利用者数の目標値:米里線102人以上、雨滝・上地線6,275人以上

(効果)

市・運行事業者・地域住民が一体となって目標達成に取り組むことで、地域住民自らの手で交通手段を確保するという気運の醸成、高齢者の外出機会の創出による健康増進、都市部への人口流出抑制により地域の活性化等に効果が得られた。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

令和5年4月より診療所、学校などを経由するルート及びダイヤの変更を行った。利用状況を共有し、地元の役員等、利用促進に努めた。

実施した利用促進策

- ・地元との意見交換会を通じた、利用状況・ニーズ等の把握
- ・路線等の変更
- ・路線バスとの接続に係るダイヤ確認
- ・時刻表・運賃・運行ルート等を市HPへ掲載。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

地域に適した交通手段について地元と意見交換を行い、利用者は多くないものの欠かせない交通手段であることを確認するとともに、地域の実状に合った交通手段の検討の必要性も確認。

今後も利用者のニーズ把握に努め、より利便性の高いものとなるよう取組を続けるとともに、新たな交通手段の検討も進める。

地域住民の意見の反映

平成30年10月19日

タクシー事業者との意見交換会

令和元年5月

国府地域からの要望を受け、増便について検討

令和元年9月24日

バス・タクシー事業者との意見交換会

令和2年～随時

米里地区及び運行事業者との意見交換・ルート時刻の変更協議

事業実施の適切性

- ・米里線 :計画どおり実施されている。
- ・雨滝上地線:計画どおり実施されている。
- ・本乗合タクシーの運行は、地域の需要に見合った車両サイズで、一定のサービス水準を維持している。さらに、デマンド運行とすることにより費用の削減が可能となり、持続可能な運行形態で地域生活交通を確保している。

目標・効果達成状況

(目標)

・米里線

目標102人に対し実績57人であり目標を下回った。

・雨滝上地線

目標6,275人に対し実績は4,006人であり目標を下回った。

(効果)

米里線については令和5年4月より地元診療所及び学校を経由する路線に変更したため学生等の交通手段となっている。。

フィーダー系路線として、幹線交通へのアクセスを重視したダイヤを設定しており、地域住民の広域移動を可能とする交通手段となっている。

事業の今後の改善点

(改善点)

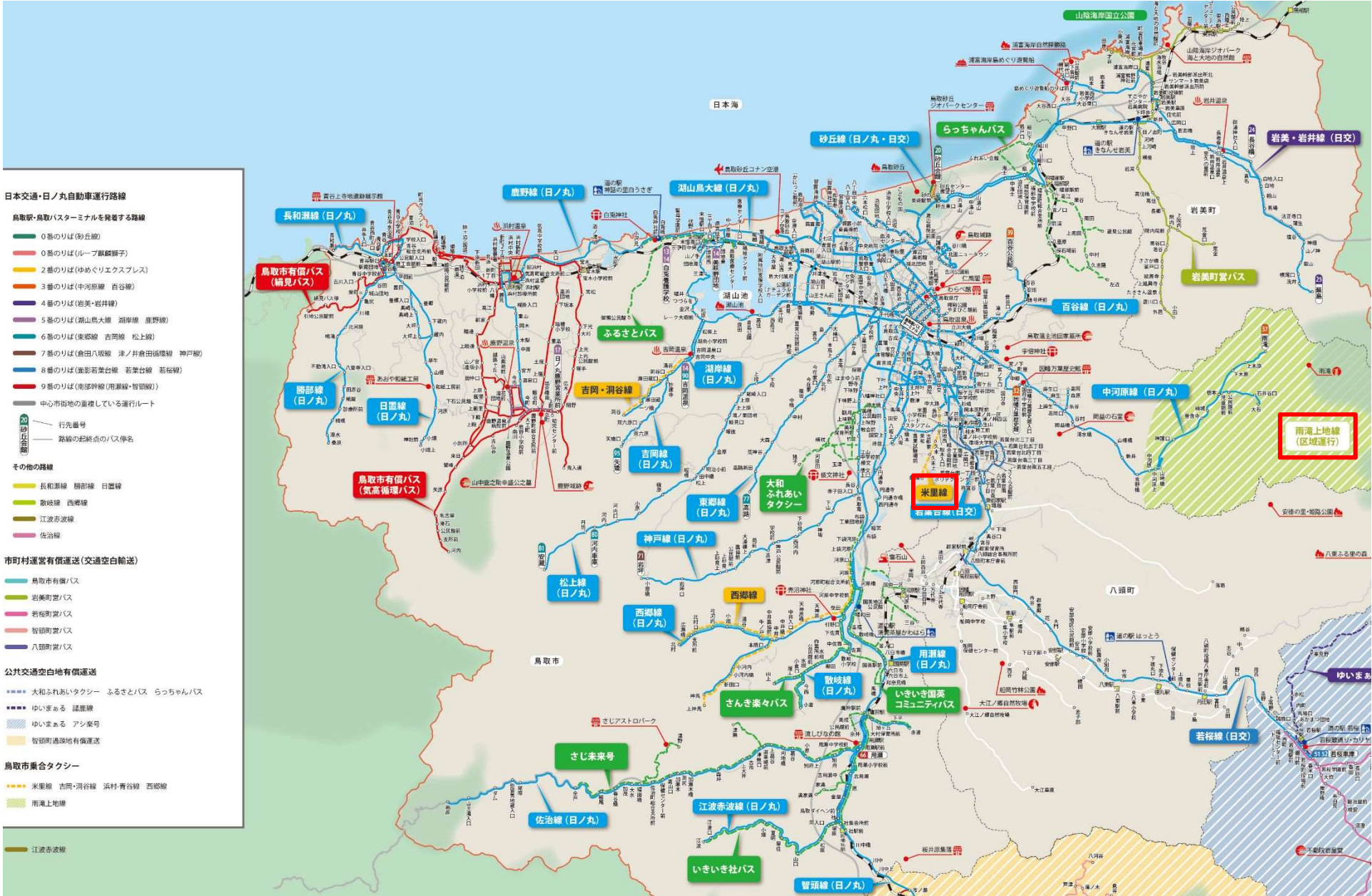
・米里線

引続き地元と利用促進に努めたが、利用者数が目標値に達しなかった。今後も、地元と事業者と協議を重ねて利用促進に努める。

・雨滝上地線

利用者数は前年度に続き減少したが、通学を中心に地域住民の交通手段として確立されている。今後も引続きダイヤ改善や路線延長等の要望事項について、地元・事業者等と検討を続ける。

交通体系図 別紙



運行系統圖 別紙

系統名 米里線
運行形態 4条路線、路線不定期運行(予約型)
運行日 1月1日・2日以外
便数 上り 7便
 下り 10便
運賃 上限220円

米里線



運行系統図 別紙

系統名 雨滝・上地線

運行形態 4条路線、区域運行(予約型)

運行日・便数 12月31日～1月3日以外毎日運行、35便

運賃 上限200円

